

熊本大学教職員組合 2025 年度定期大会(8 月 7 日)報告

組合は、2025年度熊本大学教職員組合定期大会(8月7日)をくすの木会館レセプションルームにて開催しましたので、その概要についてご報告します。

2025年度定期大会報告(8/7)

組合の存在意義とは - 熊本大学でよかったと感じてもらえる運動を -

まず議長団選出に続き、牧野委員長の挨拶では、2025年人事院勧告への対応や2024年人事院勧告への保留事案に対して組合が対応すべき決意が述べられました。2024年度活動総括・決算および監査報告(第一号議案)、2025年度運動方針(第二号議案)と予算(第三号議案)が提案され、いずれも満場一致で承認・採択されました。最後に、石原副委員長の閉会挨拶では、組合活動を通じた組合員拡大への協力が求められました。

1. 第一号議案(2024年度活動報告)

2024年度の全体総括では、組合は教職員にとって何なのか、教職員にどのように向き合っていくべきかについて述べ、また2024年人事院勧告に対して納得いく成果が得られなかったことを2025年度へ引き継ぎました。2024年度の団体交渉における獲得成果について、賃金は、当初、2024年人事院勧告の基本給は、2025年4月に規則改正し、ボーナス0.1月分の引き上げは保留されました。しかし、熊大使用者と粘り強く交渉を継続した結果、基本給表の改正は3か月前倒しして2025年1月に遡及し、その差額分は2025年3月10日に支給されました。また、処遇改善関係では、介護休暇と追悼休暇の範囲を見直し、看護休暇は看護等休暇に名称変更して様々な子どものイベントに参加が可能となりました。



牧野委員長挨拶、司会の池川書記次長、議長の伊藤さんと松瀬さん

また、これまで交渉の代償措置に絡めて組合が要求してきた教員業績評価要項に「不妊治療による業務の負担軽減」を追加することについては、不妊治療は短期的なものでなく不定期で長期化する場合があるため業績評価などで不利益を受けないように改善を求めていましたが、熊大使用者からは2025年度の改定に向けて検討しているという回答に留まっていたので、2025年度執行部への課題として申し送りました。

2. 第二号議案(2025年度運動方針)・第三号議案(2025年度予算)

世界における紛争がエネルギー資源や生活必需品の高騰へつながっています。特に生活必需品は毎月の

ように価格の改定が行なわれています。しかし、日本の賃金は30年変わっていません。参議院選挙前に自民党は、日本国民平均年収の400万円を2030年までに100万円程度引き上げると公約に掲げました。政府は民間に対して賃金の引き上げを指導し、大企業といわれるところには内部留保を一部崩すなどを目的として大幅な賃上げを要請してきました。その結果、人事院勧告にも大きく影響し若年層を中心に国家公務員の賃金も大幅に引き上げられました。ただし、これはあくまでも大企業と国の調査結果です。一般的な中小企業は、大企業の賃金引き上げ分を下請けに負担させるなど経営自体も厳しくなり、格差は大きくなっています。国立大学法人も同様に運営費交付金は下がる一方で、人件費は捻出していかなければなりません。2024年度の賃金交渉は、組合と使用者が労働協約を交わして以来はじめて人事院勧告を参考にした給与改定が不履行となりました。

2025年度運動方針は、このような現状を踏まえた上でこれまでの活動を引き継ぐことを基本方針として特に人事院勧告への対応の徹底を目標に8つの基本方針および専門部会・職種別部会の活動方針とともに提案しました。賃金問題では、国への予算措置要求を強く求めつつ、2025年人事院勧告の完全実施および2024年度凍結部分の改定に向けた交渉の実施、熊大職員のラスパイレス指数の改善、パート職員へのボーナス支給などをあらためて強く要望していくことを提案しました。また、労働環境については、ワーク・ライフ・バランスのとれた職場環境を目指した改善の提案として教職員の選考や昇格の適正な運用、「同一労働同一賃金」の原則適用、年次有給休暇の取得率アップを継続して求めます。さらに、軍事研究への応募と平和への取り組み、過半数代表者への協力体制の維持、書記局体制の強化、組合財政の適正な編成・執行、組合組織拡大の「組合員紹介制度」の見直しと他団体との連携そして、法的かつ専門的なアドバイスを得るための熊本中央法律事務所との顧問弁護契約の更新について承認されました。

2025年度予算は、上記の運動方針に基づき、昨年度の活動を維持できる金額を提案し、承認されました。



会場の様子



石原副委員長閉会挨拶

なお、定期大会翌日の8月8日には、組合員交流のレクリエーションとしてビアパーティーを開催して新しい仲間も迎えることができ、今後の厳しい交渉に向けて団結を誓いました。11月には日帰りバスハイクを開催します。ぜひ組合に加入し、部局を超えた交流で身近な問題の改善に向けて協力して取り組みましょう。

赤煉瓦	熊本大学教職員組合	
	No. 5 2025. 9. 16	内線:3529 FAX:346-1247 ku-kyoso@kumamoto-u.ac.jp http://union.kumamoto-u.ac.jp/